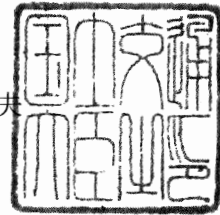


認定書

国住参建第 4390 号
令和 5 年 3 月 9 日

吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-4033-1(1)
2. 認定をした構造方法等の名称
パルプ繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板・外装構造用面材[せっこうボード]表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

別添

1. 構造名

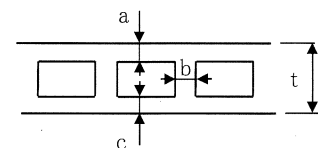
パルプ繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板・外装構造用面材 [せっこうボード] 表張/せっこうボード裏張/木製軸組造外壁

2. 寸法

壁高及び壁幅については、構造計算等により構造安定性が確かめられた寸法とする。

3. 材料構成等

項 目	製 品 仕 様									
① 外装材	<p>塗装パルプ繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板</p> <p>基材 パルプ繊維混入セメントけい酸カルシウム押出成形板 規格 JIS A 5422 組成 (質量%)</p> <table border="0"> <tr> <td rowspan="4" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>けい酸カルシウム化合物</td> <td>71~96</td> </tr> <tr> <td>有機質系繊維 (パルプ等)</td> <td>3~6</td> </tr> <tr> <td>有機質系混和材 (セルロース粉等)</td> <td>1~3</td> </tr> <tr> <td>無機質系混和材 (マイ・パ-ライト等)</td> <td>0~20</td> </tr> </table> <p>※但し、有機質系繊維と有機質系混和材の合計は8以下とする</p> <p>表面塗装 種類：下記のいずれかによる。 なし、アクリル系樹脂、アクリルウレタン系樹脂、アクリルシリコン系樹脂、無機質系 (シラン系)、またはこれらの組合せ 塗布量 (g/m²) : 100 (±10) 以下 (有機質固形分量)</p> <p>裏面塗装 種類：下記のいずれかによる。 なし、アクリル系樹脂 塗布量 (g/m²) : 30 (±3) 以下 (有機質固形分量)</p> <p>比重 (g/cm³) : 1.1 (±0.2) (絶乾) 厚さ (mm) : 16 (±1.3) ~ 25 (±2) 大きさ (mm) 働き幅 : 455 (±1) ~ 600 (±1) 長さ : 3,030 (±1) 以下 (大きさは一般部における寸法を示す。)</p> <p>端部形状 (外装材相互の重なりと隙間) 重なり (mm) : 11 (±1) ~ 15 (±1.5) 隙間 (mm) : 3 (±0.3) 以下</p> <p>断面形状 形状 : 中空品または中実品 最小厚さ (mm) : 11 (±1) 以上 エンボス・溝模様の容積欠損率 (%) : 12 (±1.2) 以下 (但し、板厚 16 mm を超える場合は裏面から 16 mm の位置での欠損率とする) 中空率 (%) : 3 (±0.3) ~ 16 (±1.6) (中空品の場合) (但し、板厚 16 mm を超える場合は厚さを増した分だけ中空部高さを増し、16% を超えて中空率を上げることができる)</p> <p>※中空の形状 (mm) (中空品の場合) 中空部 (表面肉厚 a) : 3 (±0.3) 以上 中空部 (肉厚 b) : 3.5 (±0.35) 以上 中空部 (表面肉厚 c) : 4 (±0.4) 以上</p> <p>表面形状 平滑、粗面、エンボス、溝模様またはこれらの組合せ</p>	{	けい酸カルシウム化合物	71~96	有機質系繊維 (パルプ等)	3~6	有機質系混和材 (セルロース粉等)	1~3	無機質系混和材 (マイ・パ-ライト等)	0~20
{	けい酸カルシウム化合物		71~96							
	有機質系繊維 (パルプ等)		3~6							
	有機質系混和材 (セルロース粉等)		1~3							
	無機質系混和材 (マイ・パ-ライト等)	0~20								



つづく

つづき

項	目	製 品 仕 様
① 外 装 材	塗装パルプ繊維 混入セメントけ い酸カルシウム 押出成形板	<p>水密材(あり又はなし)</p> <p>種類：エラストマー系樹脂</p> <p>使用量(g/m)：3(±3)以下</p> <p>縦目地の種類：下記のいずれかによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目透かし目地(目地幅 11(±1)mm 以下) ・金属製ジョイナー目地 ・本実目地 ・合いじゃくり目地 ・突付け目地 <p>張方：横張</p> <p>取付け工法：a 又は b のいずれかによる。</p> <p>a. 外装材留金具工法</p> <p>b. 胴縁併用外装材留金具工法</p>
	外装構造用面材	<p>種類：せっこうボード</p> <p>規格等：a から d のいずれかによる。</p> <p>a. ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板</p> <p>規格：難燃材料認定番号 RM-0059</p> <p>形状：平板</p> <p>端部の形状：スクエアー、テーパー又はベベル</p> <p>厚さ(mm)：9.5(±0.95)</p> <p>密度(g/cm³)：0.73(±0.07)</p> <p>b. ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板</p> <p>規格：準不燃材料認定番号 QM-0954-1</p> <p>形状及び端部の形状は前記の a に同じ。</p> <p>厚さ(mm)：9.5(±0.95)</p> <p>密度(g/cm³)：0.8(±0.08)</p> <p>c. ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板</p> <p>規格：準不燃材料認定番号 QM-0955-1</p> <p>形状、端部の形状及び密度は前記の b に同じ。</p> <p>厚さ(mm)：9.5(±0.95)～12.5(±1.25)</p> <p>d. 両面ボード用原紙張せっこう板</p> <p>規格：不燃材料認定番号 NM-4127</p> <p>形状及び端部の形状は前記の a に同じ。</p> <p>厚さ(mm)：9.5(±0.95)～12.5(±1.25)</p> <p>密度(g/cm³)：1.0(±0.1)</p> <p>横目地数：1本(1列)(あり又はなし)</p> <p>(横目地数は、壁高さ(土台と横架材等の間の寸法)が3,000mm 以下の場合における本数(列数)を示す。)</p>

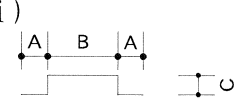
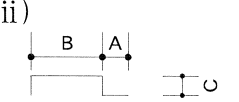
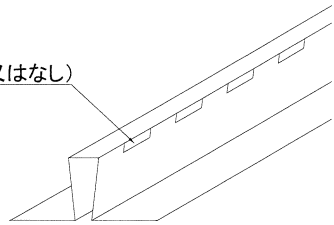
項 目	製 品 仕 様
② 柱(荷重支持部材) 木製 下地材	<p>種類：a から d のいずれかによる。</p> <p>a. 平成 12 年建設省告示第 1452 号に規定する構造用製材 (JAS 及び JAS 材の加工品を含む)</p> <p>b. 平成 13 年国土交通省告示第 1024 号に規定する構造用集成材 (JAS 及び JAS 材の加工品を含む)</p> <p>c. 平成 13 年国土交通省告示第 1024 号に規定する構造用単板積層材 (JAS 及び JAS 材の加工品を含む)</p> <p>d. 平成 12 年建設省告示第 1452 号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材</p> <p>断面寸法 (mm) : 105 以上×105 以上 密度 (g/cm³) : 0.35 (±0.05) 以上 取付け間隔 (mm) 柱と間柱の間隔: 500 (±50) 以下 (一般部における寸法を示す。)</p> <p>中間柱</p> <p>種類：a から e のいずれかによる。</p> <p>a. 構造用製材、造作用製材又は下地用製材 (JAS 及び JAS 材の加工品を含む)</p> <p>b. 構造用集成材又は造作用集成材 (JAS 及び JAS 材の加工品を含む)</p> <p>c. 構造用単板積層材又は造作用単板積層材 (JAS 及び JAS 材の加工品を含む)</p> <p>d. 枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材 (JAS 及び JAS 材の加工品を含む)</p> <p>e. 平成 12 年建設省告示第 1452 号第五号に規定する無等級材又は第六号に規定する木材</p> <p>断面寸法 (mm) : 45 以上×105 以上 取付け間隔 (mm) 中間柱と間柱の間隔: 500 (±50) 以下 (一般部における寸法を示す。) 中間柱と柱の間隔、又は間柱を介する場合の中間柱相互の間隔: 1,000 (±100) 以下 (一般部における寸法を示す。)</p> <p>間柱</p> <p>種類：前記の中間柱に同じ。 断面寸法 (mm) : 27 以上×105 以上 取付け間隔 (mm) 間柱と柱又は中間柱の間隔: 500 (±50) 以下 (一般部における寸法を示す。)</p>
③ 内装材	<p>規格：JIS A 6901 (せっこうボード製品)</p> <p>形状：平板</p> <p>表面の形状：平滑</p> <p>端部の形状：スクエアー、テーパ―又はベベル</p> <p>厚さ (mm) : 9.5 (±0.5) ~ 25 (±0.5)</p> <p>密度 (g/cm³) : 0.65 以上</p> <p>横目地数：1 本 (1 列) (あり又はなし)</p> <p>(横目地数は、壁高さ (土台と横架材等の間の寸法) が 3,000mm 以下の場合における本数 (列数) を示す。)</p>

項 目	製 品 仕 様
④ 副構成材料 胴縁(胴縁併用外装材留金具工法仕様の場合に用いる。)	仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり(胴縁併用外装材留金具工法仕様の場合) 種類：a から i のいずれかによる。 a. 製材(無等級材又は JAS(加工品を含む)) b. 集成材(無等級材又は JAS(加工品を含む)) c. 構造用合板(JAS(加工品を含む)) d. 化粧ばり構造用合板(JAS(加工品を含む)) e. 普通合板(JAS(加工品を含む)) f. 構造用パネル(JAS(加工品を含む)) g. 単板積層材(JAS(加工品を含む)) h. パーティクルボード(JIS A 5908) i. MDF(JIS A 5905) 断面寸法(mm) 一般部：12(±1.2)以上×40(±4)以上 外装材縦目地部：a 又は b のいずれかによる。 a：12(±1.2)以上×80(±8)以上の1列使い b：12(±1.2)以上×40(±4)以上の2列使い 取付け間隔(mm)：500(±50)以下
補強用胴縁(補強用下地材を用いる場合に取付ける。)	仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり(補強用下地材を用いる場合) 種類：前記の胴縁に同じ。 断面寸法(mm)：5(±0.5)以上×40(±4)以上 取付け間隔(mm)：500(±50)以下
受材及び補強用下地材(必要に応じて取付ける。)	仕様：あり又はなし 種類：前記の中間柱に同じ。 断面寸法(mm)：27(±2.7)以上×27(±2.7)以上
防水紙(必要に応じて取付ける。)	仕様：あり又はなし 種類：a から f のいずれかによる。 a. 透湿防水シート(JIS A 6111) b. ポリエチレン樹脂系 c. ポリエステル樹脂系 d. ポリプロピレン樹脂系 e. 上記 b~d の組み合わせ f. 上記 a~e にアルミニウム表面処理を施したものの 厚さ(mm)：0.5(±0.05)以下

項 目	製 品 仕 様
④ 副 構 成 材 料	仕様：あり又はなし 種類：a から h のいずれかによる。 a. 住宅用プラスチック系防湿フィルム (JIS A 6930) b. 包装用ポリエチレンフィルム (JIS Z 1702) c. 農業用ポリエチレンフィルム (JIS K 6781) d. ポリエチレン樹脂系 e. ポリエステル樹脂系 f. ポリプロピレン樹脂系 g. ポリアミド樹脂系 h. 上記 a～g にポリマーコーティングを施したもの 厚さ (mm) : 0.2 (±0.02) 以下
外装材留金具	種類：a から f のいずれかによる。 a. 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305) b. 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304) c. 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) d. 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) e. 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321) f. 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323) 寸法 (mm) : 幅 44 (±4) 以上、高さ 50 (±5) 以上 ツメの掛かり代合計面積 (mm ²) : 183 (±18) 以上 (壁面見附面積 : $\sum A_n + \sum B_n$) 厚さ (mm) : 0.8 (±0.08) 以上 ふかし厚さ (mm) : 5 (±0.5) 以上 留付け間隔 (mm) : 鉛直方向 ; 外装材の働き幅に応じた間隔以下 水平方向 ; 500 (±50) 以下
外装材の縦目地部の処理材	種類: 1), 2) の併用、1), 3) の併用又は4) のみのいずれかによる。 1) シーリング材 種類：下記のいずれかによる。 建築用シーリング材 (JIS A 5758)、ポリウレタン系、シリコン系、ポリイソブチレン系、変成シリコン系、ポリサルファイド系、アクリルウレタン系又はアクリル系 充てん高さ (mm) : 5 (±0.5) 以上 2) バックアップ材 種類：下記のいずれかによる。 ポリエチレン系、ポリスチレン系、ポリプロピレン系、ポリエチレン酢酸ビニル系、ポリ塩化ビニル系、ポリエチレンテレフタレート系、ポリウレタン系、ポリオレフィン系、シリコン系、アクリル系、フェノール系又は合成ゴム系 充てん厚さ (mm) : 3 (±0.3) 以上

つづく

つづき

項 目	製 品 仕 様
④ 外装材の縦目地部の処理材 副構成材料	3) ハット形ジョイナー 種類及び規格：下記のいずれかによる。 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) ・ 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313) ・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) ・ 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3318) ・ 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321) ・ 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322) ・ 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323) ・ 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304) ・ 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305) ・ ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744) 厚さ (mm) : 0.2 (±0.02) 以上 形状及び寸法 (mm) : 形状は i) 又は ii) のいずれかによる。 i)  ii)  A : 3 (±1) 以上、B : 11 (±1) 以下、C : 3 (±1) 以上 側面孔 (あり又はなし) 孔形状 : 3 (±0.3) × 10 (±1) 以下 間隔 : 20 (±2) 以上  4) 金属製ジョイナー 種類及び規格：上記ハット形ジョイナーに同じ。 厚さ (mm) : 0.2 (±0.02) 以上 形状 : H 形
スペース (必要に応じて取付ける。)	仕様：あり又はなし 種類：a から h のいずれかによる。 a. ポリプロピレン b. ポリエチレン c. ポリエステル d. ゴム系 e. 木製 f. 繊維強化セメント板 g. 繊維板 h. せっこう板 寸法 (mm) : 幅 50 (±5) 以下、長さ 150 (±15) 以下 使用量 (g) : 1 箇所あたり 9.5 (±1) 以下 取付け間隔：外装材の働き幅に応じた間隔以上
目地処理材 (必要に応じて処理する。)	仕様：あり又はなし 外装構造用面材用 種類：せっこう系又は炭酸カルシウム系 塗布量 (g/m) : 10 (±1) 以上

つづく

つづき

項	目	製 品 仕 様
④ 副 構 成 材 料	目地処理材(必要に応じて処理する。)	<p>せっこうボード用</p> <p>種類：せっこう系又は炭酸カルシウム系</p> <p>塗布量(g/m)：10(±1)以上</p> <p>ガラス繊維テープ又は紙テープの寸法(mm)：厚さ0.05(±0.01)以上、幅20(±2)以上</p> <p>目地処理方法</p> <p>必要に応じて、目地処理材のみで又は目地処理材とガラス繊維テープ等を併用して処理する。</p>
	留付け材	<p>外装材留金具固定用</p> <p>種類及び寸法：a から c のいずれかによる。</p> <p>a. 鋼製又はステンレス鋼製スクリークぎ 寸法(mm)：φ1.7(±0.2)以上×L25(±2.5)以上</p> <p>b. 鋼製又はステンレス鋼製リングくぎ 寸法(mm)：φ1.7(±0.2)以上×L25(±2.5)以上</p> <p>c. 鋼製又はステンレス鋼製ねじ 寸法(mm)：φ2.1(±0.2)以上×L25(±2.5)以上</p> <p>留付け本数：外装材留め金具1個につき1本以上</p> <p>外装材固定用</p> <p>仕様：あり又はなし</p> <p>種類及び寸法：a から c のいずれかによる。</p> <p>a. 鋼製又はステンレス鋼製スクリークぎ 寸法(mm)：φ1.8(±0.2)以上×L32(±3.2)以上</p> <p>b. 鋼製又はステンレス鋼製リングくぎ 寸法(mm)：φ1.8(±0.2)以上×L32(±3.2)以上</p> <p>c. 鋼製又はステンレス鋼製ねじ 寸法(mm)：φ3.0(±0.3)以上×L32(±3.2)以上</p> <p>留付け間隔(mm)：3,000(±300)以下(外装材1枚につき1本以上)</p> <p>外装構造用面材固定用</p> <p>種類及び寸法：a 又は b のいずれかによる。</p> <p>a. 鋼製又はステンレス鋼製くぎ 寸法(mm)：φ1.7(±0.2)以上×L25(±2.5)以上</p> <p>b. 鋼製又はステンレス鋼製ねじ 寸法(mm)：φ2.1(±0.2)以上×L25(±2.5)以上</p> <p>留付け間隔(mm)：200(±20)以下</p>

項 目	製 品 仕 様
④ 副 構 成 材 料	<p>留付け材</p> <p>胴縁固定用 仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり (胴縁を用いる場合) 種類及び寸法：a 又は b のいずれかによる。 a. 鋼製又はステンレス鋼製くぎ 寸法 (mm)：$\phi 1.8 (\pm 0.2)$ 以上 $\times L32 (\pm 3.2)$ 以上 b. 鋼製又はステンレス鋼製ねじ 寸法 (mm)：$\phi 3.0 (\pm 0.3)$ 以上 $\times L32 (\pm 3.2)$ 以上 留付け間隔 (mm)：500 (± 50) 以下</p> <p>補強用胴縁固定用 仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり (補強用胴縁を用いる場合) 種類及び寸法：a 又は b のいずれかによる。 a. 鋼製又はステンレス鋼製くぎ 寸法 (mm)：$\phi 1.7 (\pm 0.2)$ 以上 $\times L25 (\pm 2.5)$ 以上 b. 鋼製又はステンレス鋼製ねじ 寸法 (mm)：$\phi 2.1 (\pm 0.2)$ 以上 $\times L25 (\pm 2.5)$ 以上 留付け間隔 (mm)：3,000 (± 300) 以下</p> <p>受材固定用 仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり (受材を用いる場合) 種類及び寸法：a 又は b のいずれかによる。 a. 鋼製又はステンレス鋼製くぎ 寸法 (mm)：$\phi 1.8 (\pm 0.2)$ 以上 $\times L32 (\pm 3.2)$ 以上 b. 鋼製又はステンレス鋼製ねじ 寸法 (mm)：$\phi 3.0 (\pm 0.3)$ 以上 $\times L32 (\pm 3.2)$ 以上 留付け本数：片側 1 本以上</p> <p>補強用下地材固定用 仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり (補強用下地材を用いる場合) 種類及び寸法：前記の受材固定用に同じ。 留付け本数：片側 1 本以上</p> <p>防水紙仮留め用 仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり (防水紙を用いる場合) 種類及び仕様：a から c のいずれかによる。 a. ブチルゴムテープ又はアクリルテープ 寸法 (mm)：厚さ 0.5 (± 0.1) 以下、幅 50 (± 5) 以下 貼付け間隔 (mm)：455 (± 45.5) 以上 b. スプレーのり 塗布量 (g/m)：30 (± 3) 以下 塗布間隔 (mm)：455 (± 45.5) 以上 c. ステープル 寸法 (mm)：幅 10 (± 1) 以上、長さ 6 (± 1) 以上</p>

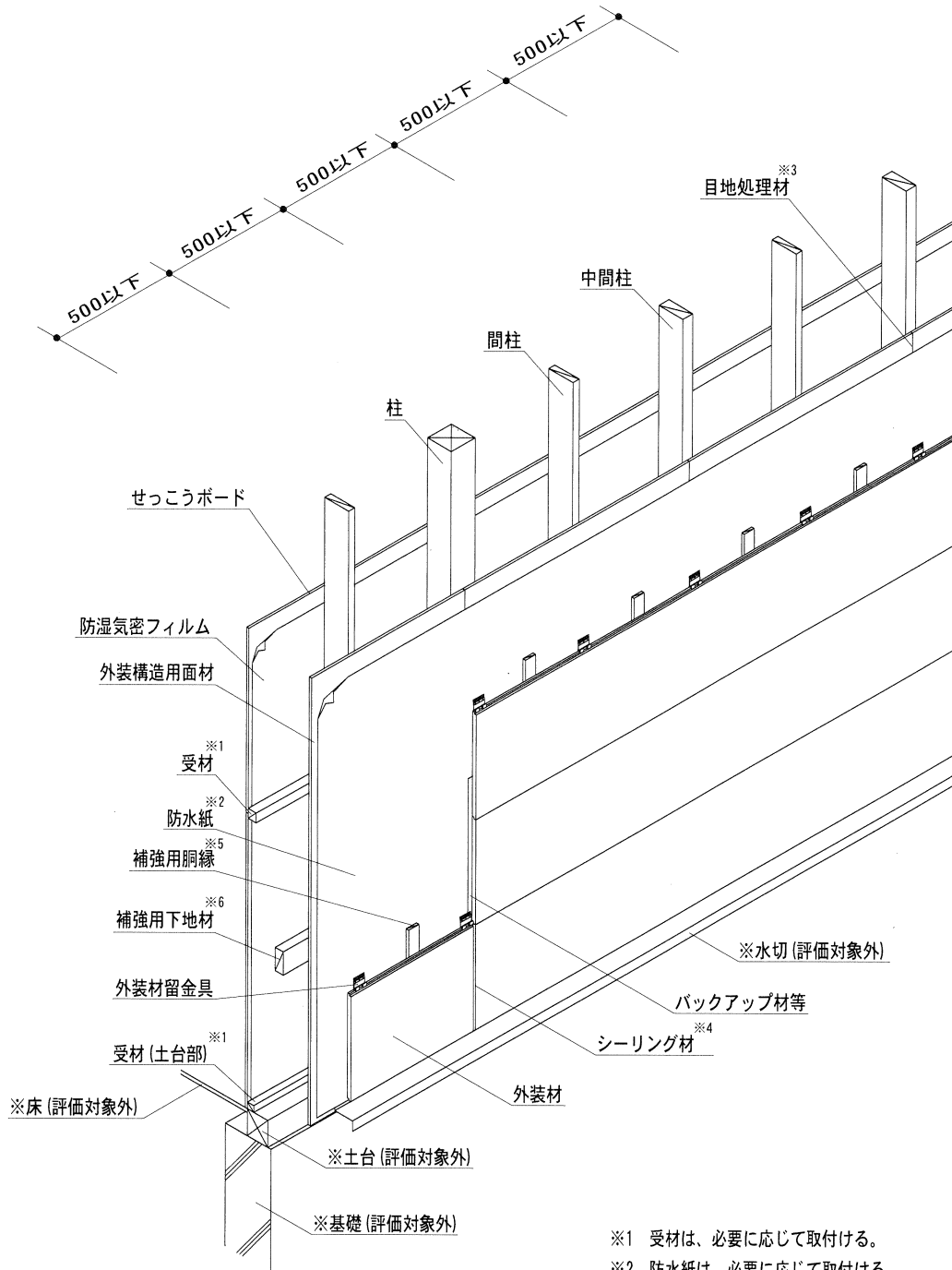
項 目	製 品 仕 様
④ 副 構 成 材 料	防湿気密フィルム仮留め用 仕様：1) 又は 2) 1) なし 2) あり（防湿気密フィルムを用いる場合） 種類及び仕様：a から c のいずれかによる。 a. ブチルゴムテープ又はアクリルテープ 寸法 (mm)：厚さ 0.5 (±0.1) 以下、幅 50 (±5) 以下 貼付け間隔 (mm)：500 (±50) 以上 b. スプレーのり 塗布量 (g/m)：30 (±3) 以下 塗布間隔 (mm)：500 (±50) 以上 c. ステープル 寸法 (mm)：幅 10 (±1) 以上、長さ 6 (±1) 以上 せっこうボード固定用 鋼製又はステンレス鋼製ねじ 寸法 (mm)：φ3.8 (±0.4) 以上×L25 (±2.5) 以上 留付け間隔 (mm)：200 (±20) 以下

4. 構造説明図

(1) 外装材留金具工法仕様

①透視図（屋外側）

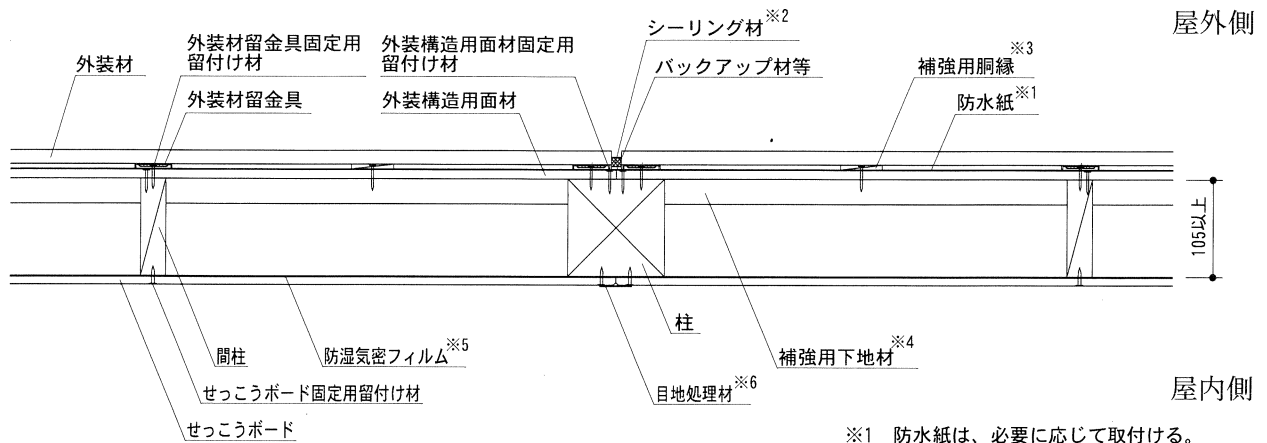
(単位：mm)



- ※1 受材は、必要に応じて取付ける。
- ※2 防水紙は、必要に応じて取付ける。
- ※3 目地処理材は、必要に応じて処理する。
- ※4 シーリング材は、バックアップ材又はハット形ジョイナーとの併用に限る。
- ※5 補強用胴縁は、補強用下地材を用いる場合に取付ける。
- ※6 補強用下地材は、必要に応じて取付ける。

②水平断面図

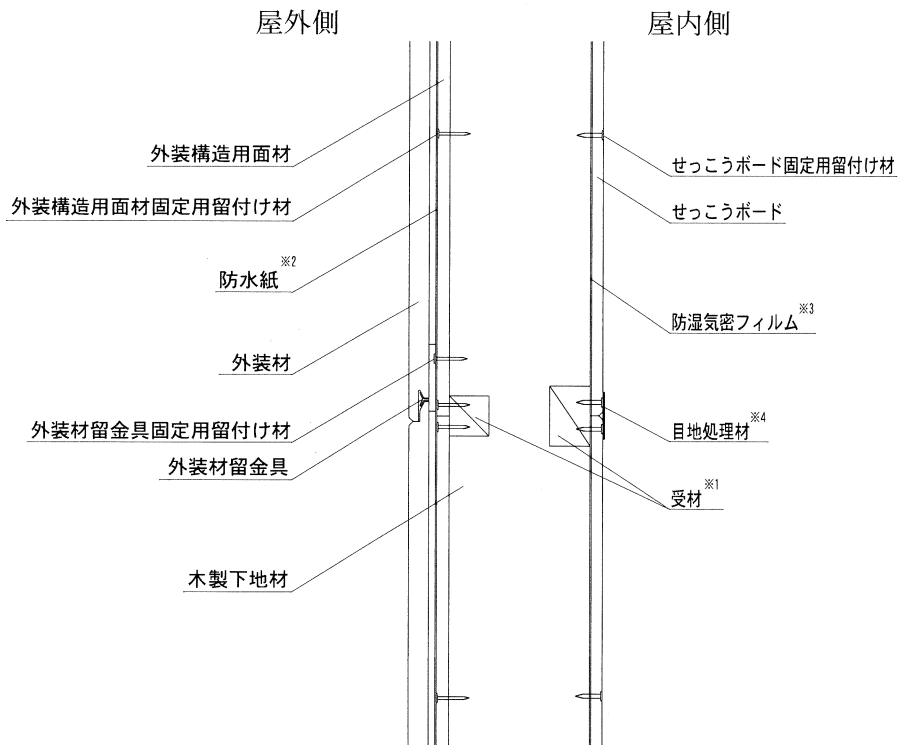
(単位 : mm)



- ※1 防水紙は、必要に応じて取付ける。
- ※2 シーリング材は、バックアップ材又はハット形ジョイナーとの併用に限る。
- ※3 補強用胴縁は、補強用下地材を用いる場合に取付ける。
- ※4 補強用下地材は、必要に応じて取付ける。
- ※5 防湿気密フィルムは、必要に応じて取付ける。
- ※6 目地処理材は、必要に応じて処理する。

③鉛直断面図

(単位 : mm)

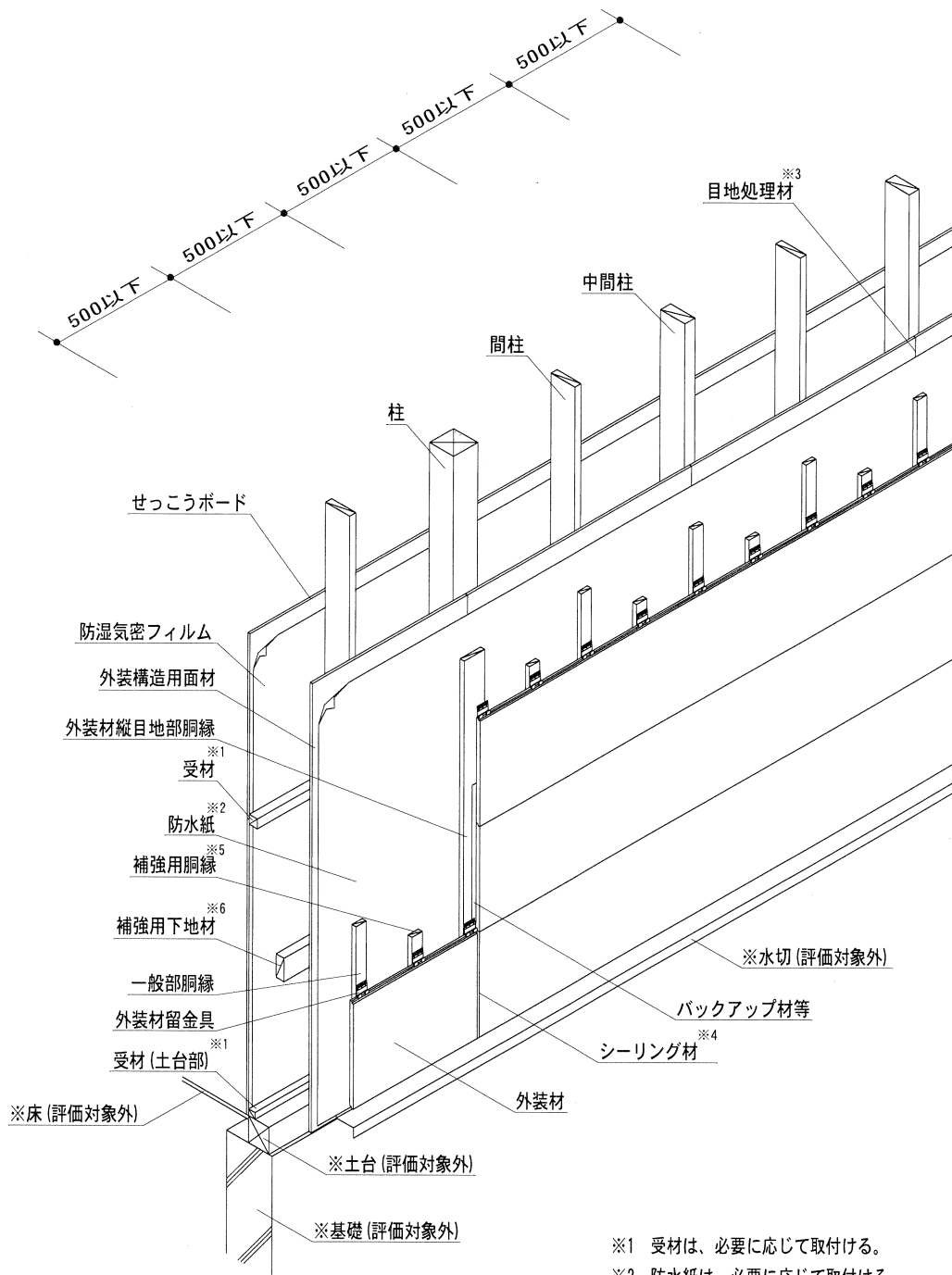


- ※1 受材は、必要に応じて取付ける。
- ※2 防水紙は、必要に応じて取付ける。
- ※3 防湿気密フィルムは、必要に応じて取付ける。
- ※4 目地処理材は、必要に応じて処理する。

(2) 胴縁併用外装材留金具工法仕様

①透視図 (屋外側)

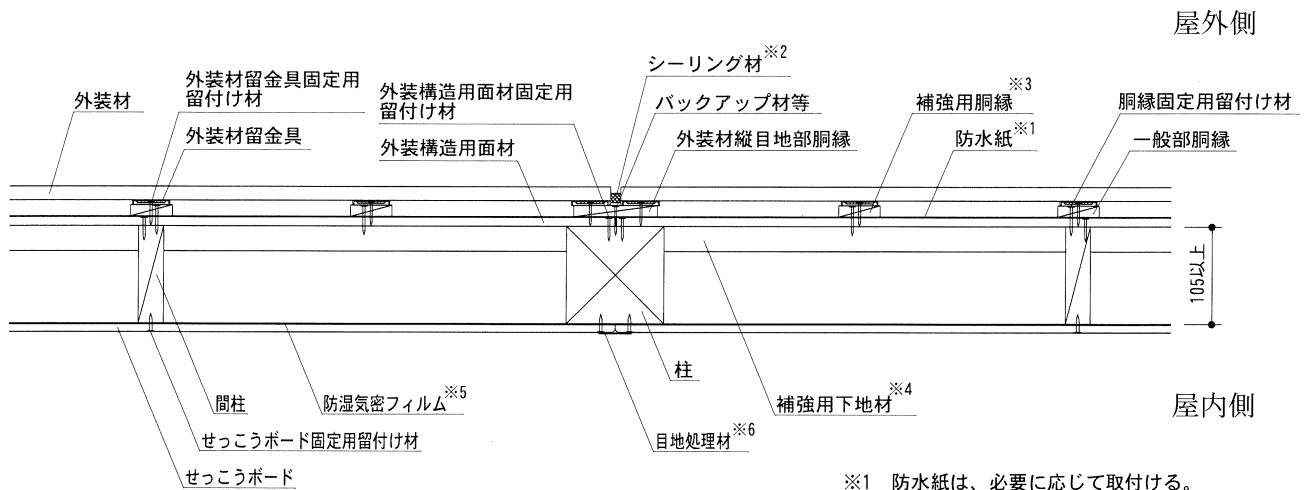
(単位: mm)



- ※1 受材は、必要に応じて取付ける。
- ※2 防水紙は、必要に応じて取付ける。
- ※3 目地処理材は、必要に応じて処理する。
- ※4 シーリング材は、バックアップ材又はハット形ジョイナーとの併用に限る。
- ※5 補強用胴縁は、補強用下地材を用いる場合に取付ける。
- ※6 補強用下地材は、必要に応じて取付ける。

②水平断面図

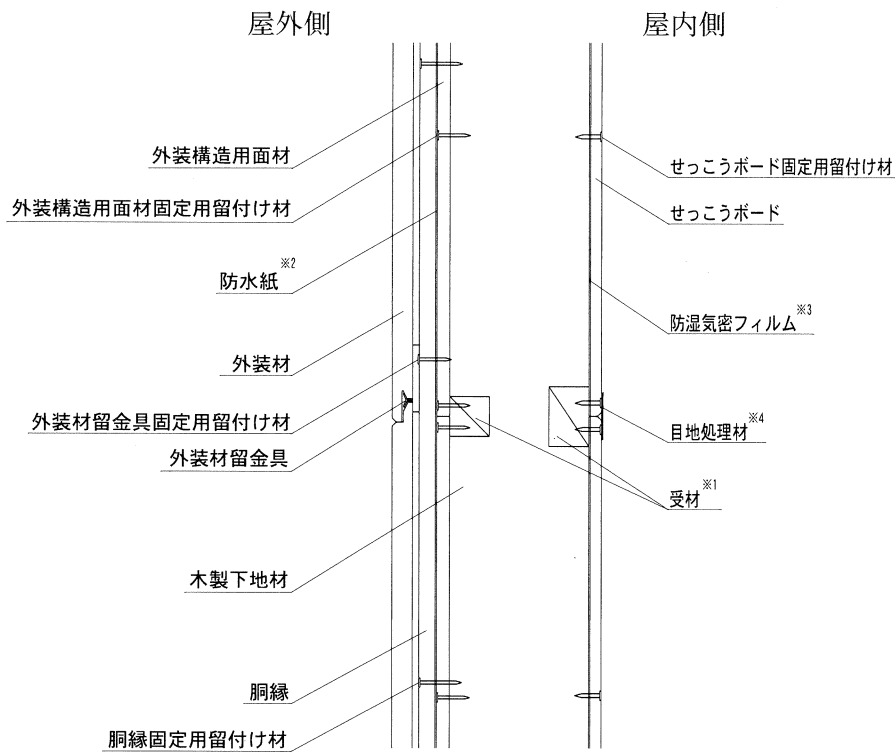
(単位：mm)



- ※1 防水紙は、必要に応じて取付ける。
- ※2 シーリング材は、バックアップ材又はハット形ジョイナーとの併用に限る。
- ※3 補強用胴縁は、補強用下地材を用いる場合に取付ける。
- ※4 補強用下地材は、必要に応じて取付ける。
- ※5 防湿気密フィルムは、必要に応じて取付ける。
- ※6 目地処理材は、必要に応じて処理する。

③鉛直断面図

(単位：mm)

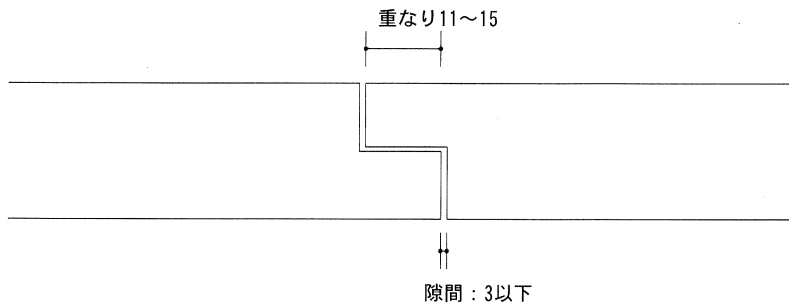


- ※1 受材は、必要に応じて取付ける。
- ※2 防水紙は、必要に応じて取付ける。
- ※3 防湿気密フィルムは、必要に応じて取付ける。
- ※4 目地処理材は、必要に応じて処理する。

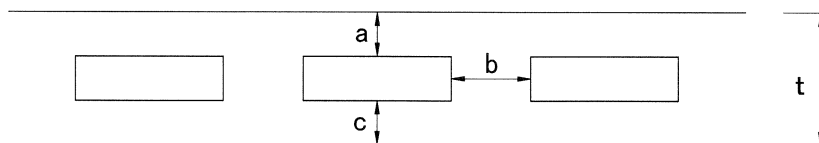
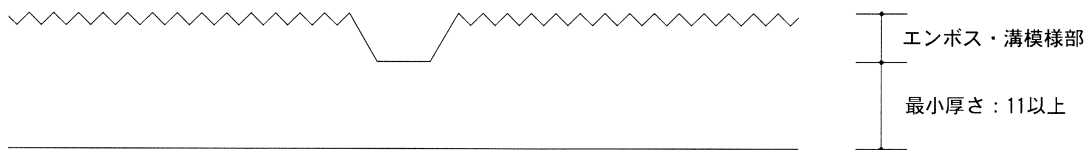
(3) 外装材の端部形状および断面形状の概略図

(単位：mm)

①端部形状



②断面形状

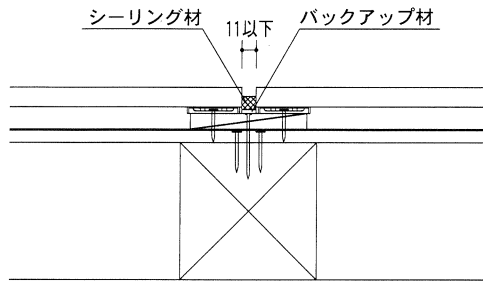


厚さ t	16以上
a	3以上
b	3.5以上
c	4以上

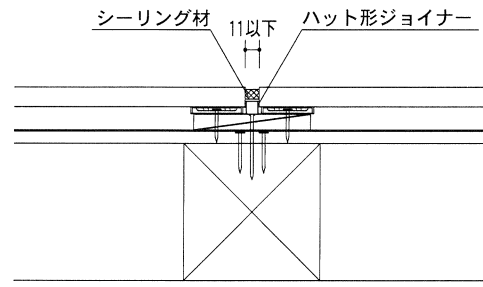
(4) 外装材の縦目地の概略図
 (胴縁併用外装材留金具工法仕様の場合の例)

(単位 : mm)

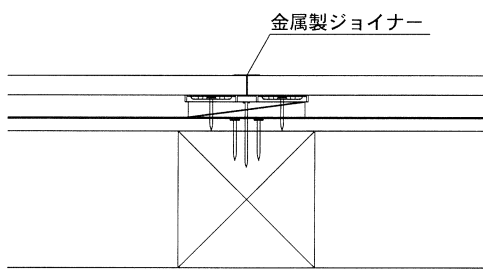
① 目透かし目地
 (バックアップ材+シーリング材)



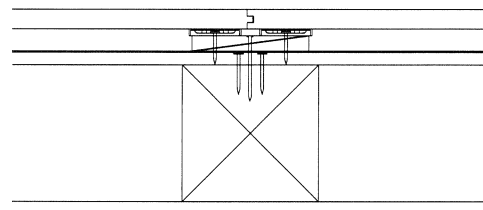
② 目透かし目地
 (ハット形ジョイナー+シーリング材)



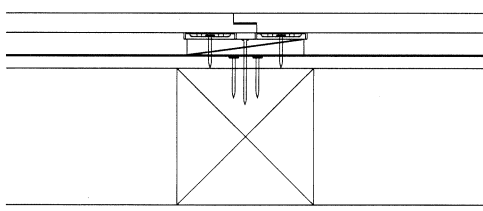
③ 金属製ジョイナー目地



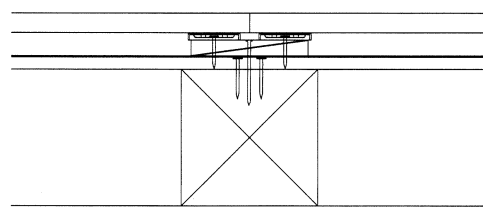
④ 本実目地



⑤ 合いじゃくり目地

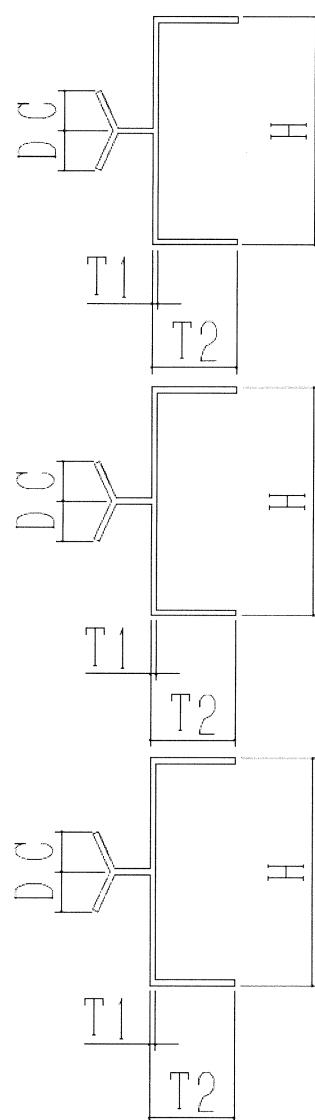
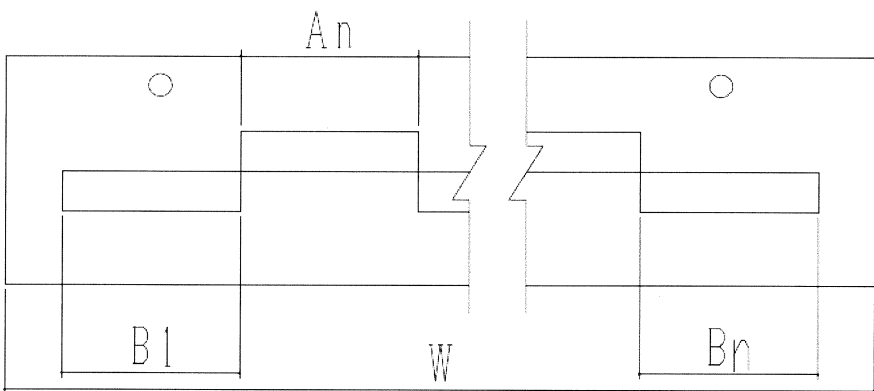
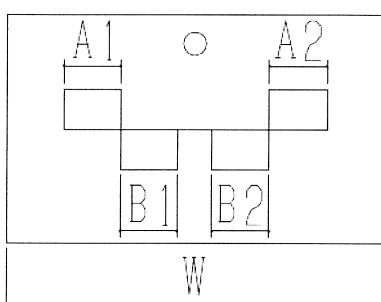
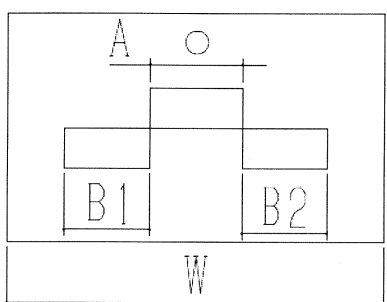
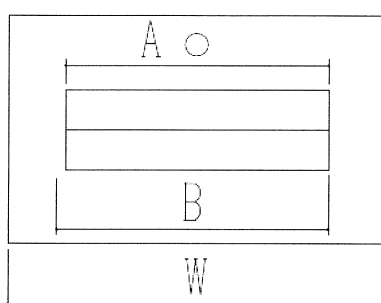
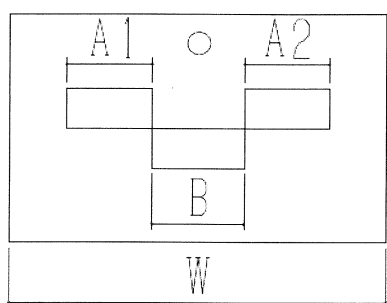


⑥ 突付け目地



(5) 外装材留金具の概要図

(単位 : mm)



$\Sigma An + \Sigma Bn$ (mm ²)	C	D	H	T 1	T 2	W
183 (±18) 以上	6.7 (±0.7) 以上	5.5 (±0.6) 以上	50 (±5) 以上	0.8 (±0.08) 以上	5 (±0.5) 以上	44 (±4) 以上

5. 施工方法

(1) 木製下地材の組立て

柱を土台に取付ける。柱と柱の間に断面寸法が 27mm 以上×105mm 以上の間柱を 500mm 以下の間隔で配置し、土台に取付ける。この時、外装構造用面材又は内装材の縦目地部となる位置には断面寸法が 45mm 以上×105mm 以上の中間柱又は柱を使用する。必要に応じて、受材を外装構造用面材等の横目地となる位置に配置し、φ1.8mm 以上×L32mm 以上の鋼製くぎ等で、片側 1 本以上、柱、間柱、中間柱等を取付ける。必要に応じて、補強用胴縁を取付ける場合には、補強用下地材を配置し、φ1.8mm 以上×L32mm 以上の鋼製くぎ等で、片側 1 本以上、柱、間柱、中間柱等を取付ける。

(2) 外装構造用面材の取付け

外装構造用面材をあらかじめ現場の寸法に合わせて切断し、φ1.7mm 以上×L25mm 以上の鋼製くぎ等で、200mm 以下の間隔で木製下地材に取付ける。必要に応じて、横目地を設ける場合は、高さ 3,000mm に対して 1 本とする。

なお、外装構造用面材の目地部は、必要に応じて目地処理材で処理する。

(3) 防水紙の仮留め

必要に応じて、防水紙をたるみ、しわ等が生じないようにブチルゴムテープ等で外装構造用面材に仮留めする。継ぎ目の重なりは 500mm 以下とする。

(4) 胴縁の取付け (胴縁併用外装材留金具工法仕様の場合に取付ける。)

胴縁は、幅 40mm 以上のものを 500mm 以下の間隔で柱、間柱及び中間柱にあたる箇所配置し、φ1.8mm 以上×L32mm 以上の鋼製くぎ等で 500mm 以下の間隔で柱、間柱、中間柱等を取付ける (必要に応じて胴縁に下穴を開ける)。なお、外装材において、縦目地を設ける箇所には、幅 80mm 以上のもの 1 列又は幅 40mm 以上のもの 2 列を配置する。

(5) 補強用胴縁の取付け

必要に応じて、補強用胴縁は、幅 40mm 以上のものを 500mm 以下の間隔で胴縁間 (柱、間柱及び中間柱間) に配置し、φ1.7mm 以上×L25mm 以上の鋼製くぎ等を用いて、3,000mm 以下の間隔で補強用下地材又は受材を取付ける (必要に応じて補強用胴縁に下穴を開ける)。

(6) 外装材留金具の取付け

外装材留金具を、胴縁、補強用胴縁、防水紙又は外装構造用面材の表面に働き幅間隔で、φ1.7mm 以上×L25mm 以上の外装材留金具固定用鋼製スクリークぎ等を用いて、外装材を張付けながら取付ける。但し、通気層と同じ厚さの補強用胴縁を用いる場合、補強用胴縁には外装材留金具を取付けなくてもよい。

(7) スパースの取付け

必要に応じて、スパースをブチルゴムテープ等で胴縁、補強用胴縁、防水紙又は外装構造用面材の表面に取付ける。

(8) 外装材の取付け

外装材をあらかじめ現場の寸法に合わせて切断し、留金具にはめ込みながら張り上げる。外装材の縦目地は、柱等の下地がある場所で合わせる。取付けは、目地通りよく、不陸、目違いのないように行う。必要に応じて、φ1.8mm 以上×L32mm 以上の鋼製スクリークぎ等を用いて、胴縁、補強用胴縁又は柱、間柱、中間柱等を取付ける。外装材の縦目地の目地処理は、以下の方法で行う。

①目透かし目地

目透かし目地を設ける場合には、目地幅 11mm 以下になるように外装材を取付け、バックアップ材等を併用して、シーリング材を充てん高さ 5mm 以上となるように充てんする。

②金属製ジョイナー目地

II 形金属製ジョイナーに外装材をはめ込み、外装材を留付けて押える。

③本実目地

外装材の重ね代及び隙間は指定寸法を確保し、表面側・裏面側のいずれかの端部を合わせて取付ける。

④合いじゃくり目地

外装材の重ね代及び隙間は指定寸法を確保し、上実・下実のいずれかの端部を合わせて取付ける。

⑤突付け目地

目地部において、外装材を突付けて取付ける。

(9) 防湿気密フィルムの仮留め

必要に応じて、防湿気密フィルムをたるみ、しわ等が生じないようにブチルゴムテープ等で柱、間柱、中間柱等に仮留めする。継ぎ目の重なりは 100mm 以下とする。

(10) せっこうボードの取付け

せっこうボードを、あらかじめ現場の寸法に合わせて切断し、 $\phi 3.8$ mm以上 \times L25 mm以上の鋼製等ねじで200mm以下の間隔で柱、間柱、中間柱、受材等に留付ける。

なお、せっこうボードの目地部は、必要に応じて目地処理材で処理する。